

地域の宝を伝える子どもたち

南小校区には、「馬場楠鼻ぐり井手」という地域の宝があります。2018年に世界かんがい施設遺産に登録されており、世界の宝とも言えます。南小の3・4年生は、総合学習として鼻ぐり井手の仕組みや歴史を学び、それを子どもボランティアガイドとして地域の人や観光客に伝える取り組みをしています。また、「後の世のために」と題された音楽劇を作り上げ、加藤清正や村人の思いを表現し、現代につなげています。音楽劇は地域のお祭りで披露し、多くの人に喜ばれています。

先人が残した貴重な文化財を学習し、自分の言葉で伝えることで、郷土を愛する心と、誇りを持って話す力を育てています。



子どもボランティアガイドとして活動する児童たち

人権啓発標語 「考えよう 自分がされたら どう思うのか」

武蔵ヶ丘中学校 1年 西本 歩実(現在2年生)

「ハンセン病学習をふり返って」

武蔵ヶ丘小学校 5年 甲斐 鈴葉(現在6年生)



みんなが生きてよかったと感じるために(作者右)

ハンセン病は、感染力は弱く、人から人へうつらないのに、そのことを知ろうともせずにかくりする法律はとてもひどくてゆるされないといます。かくりされた人たちの生きる希望と未来までかくりしてうばったと思います。また、かん者同士の結婚はゆるされないということもゆるせません。それに、強制的にりょう養所に入れさせられて、にげたらばつを受けるという決まりがあるのも考えられません。正しいことを知ることが大切だと改めて考えました。

中さんは「ここであきらめてしまったら、差別はなくなる」と勇気をだして、本当のことや思いを伝え続け、国や差別をしている人とたたかったことがすごいと思いました。中さんの「正しいことを正しく伝えたい」という強い思いが社会を変えることにつながったと思います。

私は、差別は間違っている・いけない・おかしいと分かってはいるけど人の悪口を言ったり、態度がえをしたりしたことがあります。もし、自分がこの時代に生まれていたら、差別する側に入っていたかもしれません。自分の弱い心が差別を生み出しているからです。

でも、この学習をしていくなかで、差別に打ち勝つ強い気持ちが身についてきたと思います。みんなが生きてよかったと生きがいを感じるためには、一人一人が差別をゆるさない心をもって、勇気をだしておかしいことはおかしいと差別に立ち向かっていかなければならないと思います。これからは、ハンセン病学習や人権学習で学んだことを生活や生き方に生かしていきたいです。

(先生から)学習を通して、正しいことを知ろうとしないことが差別を生み出すこと、正しいことを伝え続けることが差別を許さないことや無くすことに繋がることを学んだのですね。もし、自分だったら・・・と自分と重ねて考えることがみんなと分かり合える一歩になると思います。

「子どもの権利条約」の具体化を ～条約制定30周年に当たって～

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は1989(平成元)年に国連の総会で採択された子どもの基本的人権を国際的に保障するために定められた条約です。前文と本文54条から構成されています。日本も5年後の1994(平成6)年に批准(条約を正式に承認)しました。



「子どもの権利条約」に定められている子どもの権利は大きく分けて4つあります。

- ①生きる権利(すべての子どもの命が守られること)
- ②育つ権利(もって生れた能力を十分に伸ばして成長できるよう医療や教育、生活への支援を受け、友だちと遊んだりすること)
- ③守られる権利(暴力や搾取、有害な労働から守られること)
- ④参加する権利(自由に意見を表明したり、団体を作ったりできること)

しかし、昨年3月の「熊本県子どもの生活に関する実態調査結果」では、「全国の子どもの貧困率を算出している国民生活基礎調査の手法に沿って本調査における相対的貧困率を算出した結果、貧困線を下回る者の割合は15.0%となりひとり親世帯では43.8%であった」、2017(平成29)年度の全国の児童相談所の児童虐待相談対応件数は速報値として133,778件(前年度比11,203件増)、不登校児童生徒数は144,031人(前年度133,683人)と公表されています。子どもを取り巻く厳しい状況があります。「子どもに最善の利益」という「子どもの権利条約」の理念が子どもたちに届く社会の具体化を条約制定30年目に当たり改めて考えたいと思います。

菊陽句会報

きくよう文芸

人の世の暗きを照らせ大花火	田島 三間	一線を引くが円満秋茄子	木村 信子
事件事故多き報道早や立秋	宮川ユキエ	終活を朗らに語る盆の宴	財津 早雪
生れながら護身の構へ子蟻螂	紫藤 祥子	病葉やあるかなきかの風に舞ふ	原野レイ子
笑む遺影老いゆくはらから冷し酒	曾我 育代	唐突に現れ出し蟻の道	寺尾千代子
日照不足しの字つの字の茄子かな	曾我トモ子	折り紙のひこうき飛ばす夏の空	高橋 孝子
散歩道持久力ある日焼の子	緒方チエ子	網戸して世間さえぎる四畳半	福田 貴子
夏めくやなぜかキンキンときめきて	米山るみ子	秋立ちぬ編み込みの髪つややかに	北川しんじ
御田祭神輿ぐるに持ちにけり	吉田 幸子	崖に沿ふキリシタン墓地夏落葉	佐藤 澄世

短歌会

奥阿蘇のクララの原に追ひ駆けるオオルリシジミは翅ひらめかす  
 苗植えて灌水チューブを張りめぐらしポンプを始動す暗がりの中  
 窓辺よりかすかな風が流れ来て肌に溶けゆく夜明けの空気  
 タごとに庭の水かけ続けおり見上げる空には雲ひとつ無く  
 学童の子どもが育てたゴーヤなり両手にいたたく演技を終えて

有久 賢治  
 梅田 國雄  
 佐藤せい子  
 中村トシエ  
 松本 東亜